

6月12日(水)5限目(校長、天野、坪岡、田村、苗代)

①に引き続き、計画訪問Aの若手の感想です。



今回のA訪問での公開授業を通じて、自分の課題がいろいろと感ずることができた。1つはタイムマネジメント。授業案作成時から時間に余裕がないことは分かっていたが、生徒の様子に合わせたことで、適応問題に十分な時間がとることができず、取組むことができなかった。今後は、タイムマネジメントを意識するとともに、生徒の活動へのスピードも意識して指導していきたいと思う。2つ目は、生徒の言葉でまとめを作る授業展開ができなかったこと。教師がすべて指定してまとめを示すのではなく、生徒が授業の中で発した言葉を拾って、まとめることを意識しながらやっていきたいと思う。

自分の中で意識していた、「生徒に具体的な指示を出す」についてはおおむねできていたように感じている。活動の数が多い分、準備の段階から指示の重要性は感じており、事前に指示の内容を準備して授業に臨んだ。授業では、生徒が指示を理解し活発に活動に取り組んでくれていた。しかし授業を行う中で、テレビを用いたり貼物を用いたりして生徒が視覚的に場面を確認できるような工夫があった方がいいと感じたので、今後工夫をしながら活動を行っていききたいと思う。

今後の取組としては、まとめを生徒の発言でつくりあげていく授業展開、問題の工夫、既習を活かした縦のつながりのある学習を意識しながら授業に取り組んでいきたいと思う。田村涼太

教員生活をスタートしたばかりの2人。考え、悩み、仲間と議論しながらたくさん学んでほしいと思います。

今回の公開授業では、子どもたちの話す力を引き出せなかったのが一番の課題であると感じました。普段の授業ではモデル文を練習させていましたが、本時では、モデル文に沿ってキーワードから紹介をするという少し発展的な内容を行ったため、手元を見ながらの紹介になってしまいました。英語を話すことに少し照れがある状態で活動に臨んだのが一番の原因であると指導を受け、スモールステップとしてもう一段階口頭ドリルを行い、身体にしみこませる必要があったことに気がつきました。また、班のような小集団で行う発表と全体へのパブリックな場での発表とでは発表のポイントや仕方が変わってくる点にまで自分の視点が行き届いていないことが分かりました。特に今回のような活動では暗記させて何も見ない状態でというのが必須だったと思います。よかった点に関しては最後に文字に落とすという活動をいれたところでした。また、生徒の言葉でまとめ・振り返りを書いたことである。もうひとつ足りなかった点は、書かせた文章の誤答を共有することができたことです。

活動→指導→活動→指導という流れを授業の中で作っていくことが大切であると学びました。活動をすべて終わらせてから、個別で対応していくことに少し悩んでいましたが、生徒がこんなことを言いたいけど言えないというジレンマを、一旦活動を止め、全体で共有しました。活動へとむかっていくことが求められていると知り明日からの授業取り入れていきたいです。また、教科の見方・考え方の話では、相手のバックグラウンドを考えて使う英語を考え、表現していくというキーワードがありました。その点を生徒に意識させていく仕掛けを考えていきたいと思っています。苗代勇輝